

東北地方 1か月予報

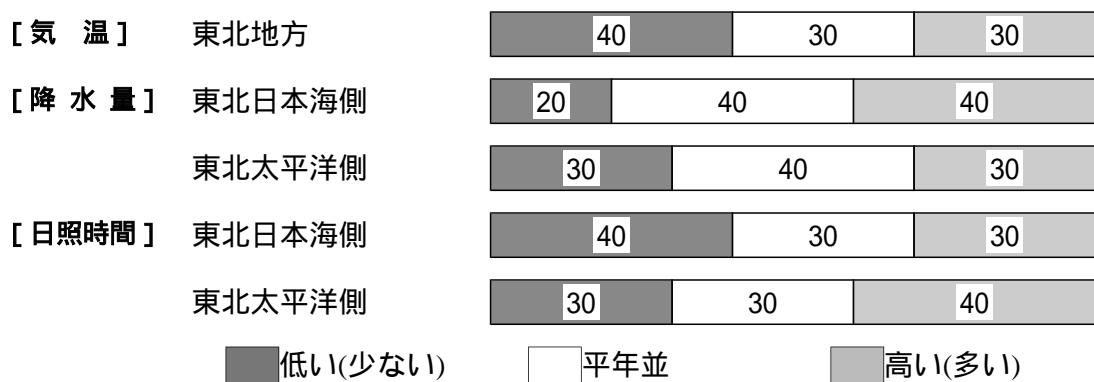
(3月20日から4月19日までの天候見通し)

平成22年3月19日
仙台管区気象台発表

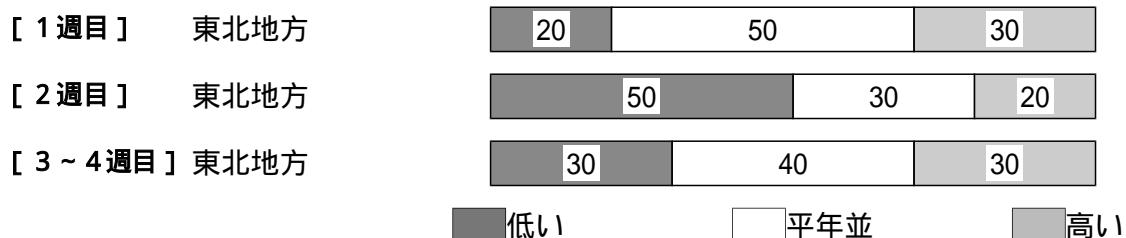
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるものでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
向こう1か月の降水量は東北日本海側で平年並または多い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 3月20日(土) ~ 4月19日(月)
1週目 : 3月20日(土) ~ 3月26日(金)
2週目 : 3月27日(土) ~ 4月2日(金)
3~4週目 : 4月3日(土) ~ 4月16日(金)

<次回発表予定等>

- 1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は3月26日
3か月予報：3月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	5.5	64.8	177.8	3.0	4.4	6.8
深浦	6.0	93.8	163.8	3.5	5.0	7.3
むつ	4.9	80.7	184.4	2.3	3.8	6.1
八戸	5.8	56.7	190.2	3.2	4.8	7.1
秋田	6.8	111.5	169.8	4.2	5.7	8.1
盛岡	5.7	93.6	173.1	2.8	4.4	7.0
大船渡	6.7	128.5	174.3	4.3	5.7	7.8
宮古	6.3	98.8	189.9	3.8	5.3	7.5
仙台	7.8	92.5	189.3	5.3	6.7	8.9
石巻	6.9	88.2	193.2	4.6	5.9	8.1
山形	7.0	68.8	168.5	4.0	5.6	8.4
新庄	5.4	108.1	141.4	2.8	4.0	6.6
酒田	7.5	106.7	161.6	5.1	6.4	8.7
福島	8.5	84.6	186.6	5.8	7.3	9.9
若松	7.0	69.4	162.7	4.0	5.6	8.4
白河	7.2	98.7	184.1	4.5	6.0	8.5
小名浜	9.0	130.8	185.8	6.8	8.1	10.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.4	85 ~ 111	96 ~ 105
東北日本海側	-0.3 ~ +0.4	87 ~ 108	95 ~ 105
東北太平洋側	-0.2 ~ +0.4	80 ~ 115	96 ~ 105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6	-0.4 ~ +0.4
東北日本海側	-0.5 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.3 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成22年3月19日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月20日~4月19日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(3月20日~3月26日) :

東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の降る日が多いでしょう。東北太平洋側は期間のはじめは晴れる所もありますが、その後は気圧の谷や寒気の影響で雨や雪の降る日がある見込みです。

なお、21日から22日にかけて発達する低気圧の影響で、大荒れとなるおそれがあります。

平均気温は平年並の確率が50%です。

2週目(3月27日~4月2日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低い確率が50%です。

3~4週目(4月3日~4月16日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

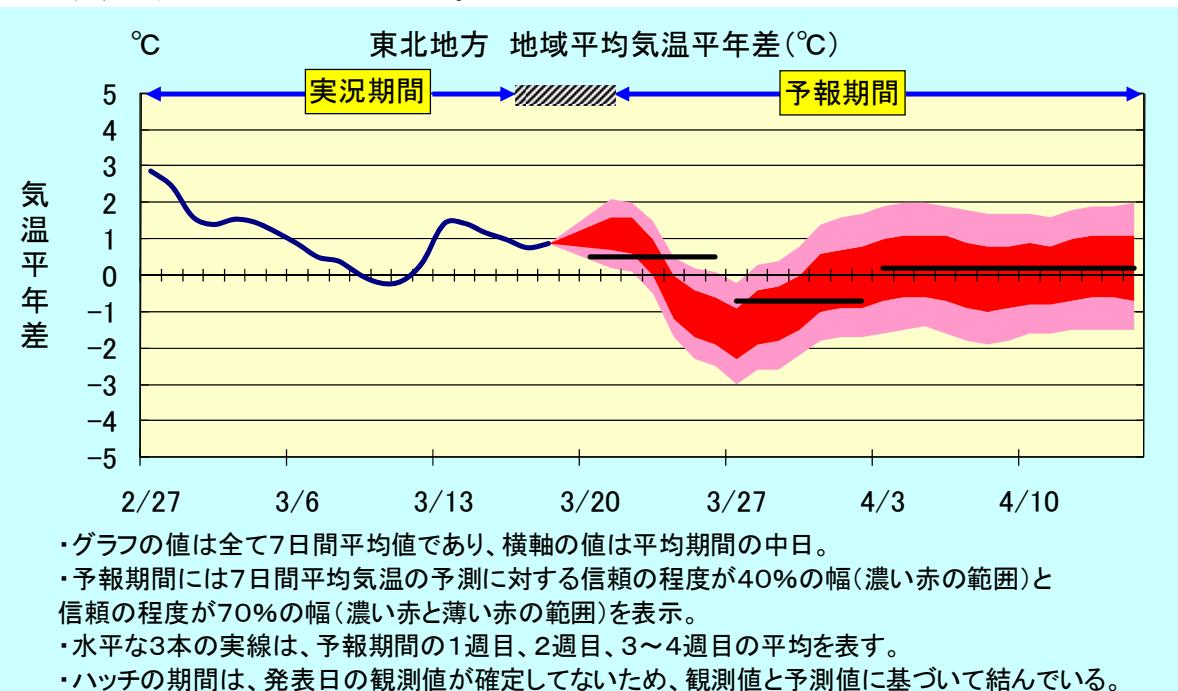
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	14.4日	3.3日	3.5日	7.6日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.2日	8.4日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

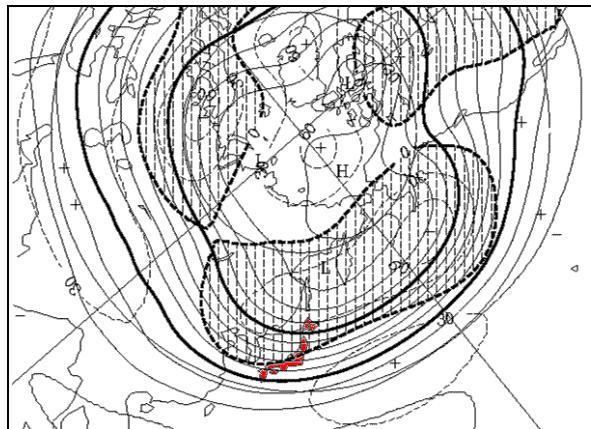
地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、3~4週目は平年付近、2週目は平年を下回る予想となっている。



3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1ヶ月平均:極域は正偏差となるが、極東域の中緯度には負偏差が広がり、北日本も負偏差におわれる。北極振動の寒気放出のパターンで、極東域に寒気が南下しやすい。一方、日本の東には正偏差が広がる。東北地方の偏差は小さく、持続的に強い寒気が南下する予想ではないが、一時的に寒気の影響を受け、低温傾向が見込まれる。

1週目:日本の東に中心をもつ正偏差が日本の南に広がる。一方、ユーラシア大陸からオホーツク海にかけては広く負偏差で、日本海や北日本も負偏差におおわれる。東北地方の偏差は小さく、気温は平年程度と予想されるが、一時寒気の南下が見込まれる。

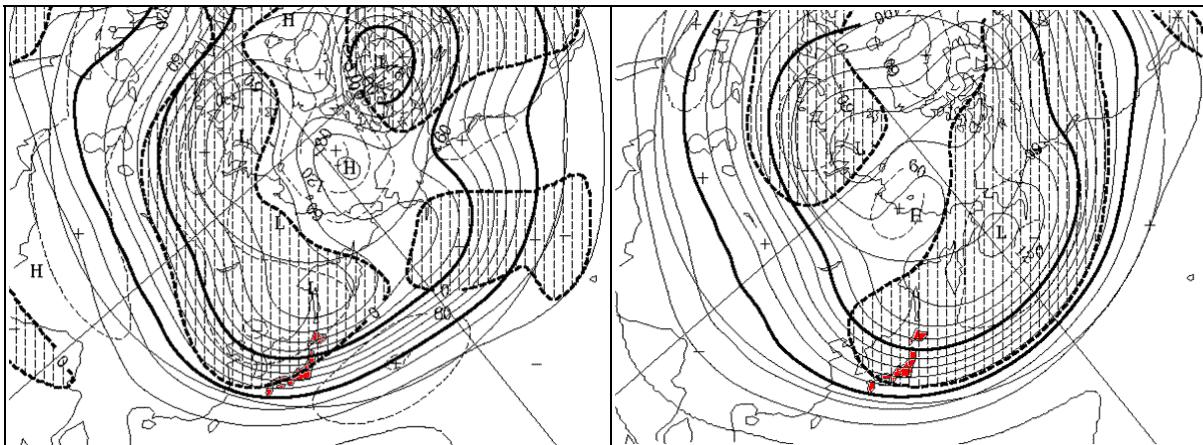


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)

2週目:中央シベリアは気圧の尾根となり、正偏差におおわれる。一方、北太平洋に広がる負偏差が本州付近をおおう。寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。



1週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

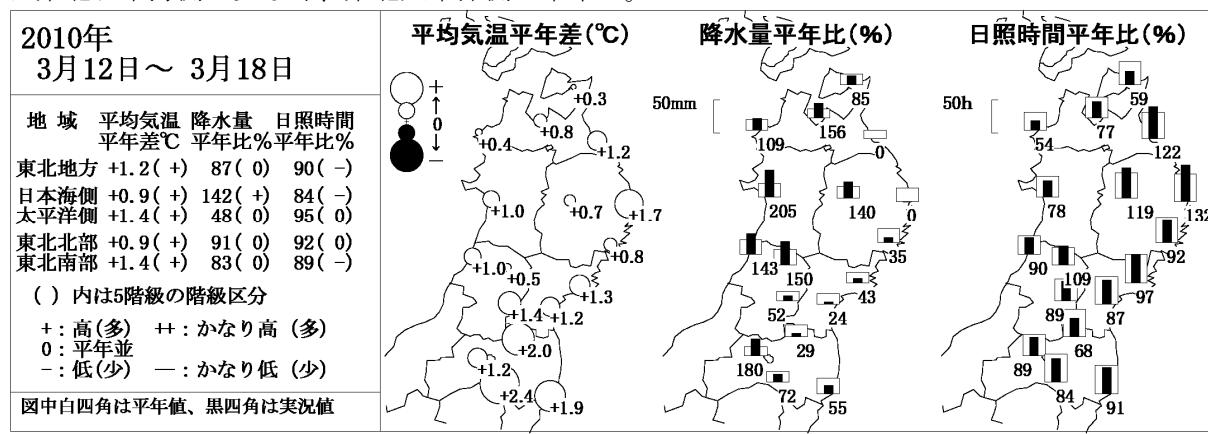
白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

2週目平均 500hPa 予想天気図

4. 最近 1 週間（3月 12 日～3月 18 日）の天候の経過

この期間、13日と15日から16日にかけては、前線や気圧の谷が東北地方を通過した影響で雨や雪となった。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れたが、東北日本海側では寒気の影響により雪や雨となる日もあった。期間の中頃までは南から暖かい空気が流入して気温の高い日が多くた。なお、12日は山形県でなだれによる被害が発生した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）